

平成26年9月定例会一般質問表

9. 3、4、5

受付順	質問者	質問項目 ・ 要 旨 ・ 内 容 1、2、3、・ (1)、(2)、(3)・・・ ①、②、③・・・	答 弁 を 求 め る 者
1	7 番 吉 田 美 枝 議 員	<p>1. 災害に強い安全・安心なまちづくりについて</p> <p>7月9日から10日にかけて昨年を上回る豪雨に見舞われ、市街地等における家屋の浸水や農地・道路の冠水など更に甚大な被害を受けました。</p> <p>昨年の豪雨災害により採択された「災害関連事業」及び「河川災害復旧等関連緊急事業」も2年続けての災害、それも昨年を上回る広範囲での甚大な被害に見舞われたことにより、計画の見直し検証が必要となりました。</p> <p>そうした中、昨年に引き続き災害ボランティアセンターが被災後僅か3日後に開設され、22日間で延べ3,696人ものボランティアの方々の懸命な復旧活動のお陰で、当初予定より1週間も早くセンターを閉所することができました。</p> <p>この間、高齢者や一人暮らしの住宅を中心に床下の泥上げや家具の運び出し等、暑い中で黙々と作業をこなしておられるボランティアの皆様方、そして運営にご協力をいただきました社会福祉協議会をはじめとする関係者の皆様方には心からの敬意と感謝を申し上げます。</p> <p>(1) 地域防災計画について</p> <p>① 昨年は県内初の災害ボランティアセンターの設置ということで受け入れ態勢も出来上がっていない中での取り組みだったが、昨年の経緯を踏まえ、今年度、市の地域防災計画の中に災害ボランティアセンター立ち上げのマニュアル化は盛り込まれていたのかどうか。</p> <p>② 昨年の豪雨災害を受け、これまでの地域防災計画の見直しを図った点はあるのか。</p> <p>③ 見直しを図ったことでの利点をどのように活かすことができたか。</p>	市 長 関係課長

受付順	質問者	質問項目 ・ 要 旨 ・ 内 容 1、2、3、・ (1)、(2)、(3)・・ ①、②、③・・・	答 弁 を 求める者
1	7 番 吉 田 美 枝 議 員	<p>④ 災害情報の収集、伝達、広報とその状況はどうだったか。</p> <p>⑤ 災害応急対策として、予報、警報の伝達、避難の勧告、指示の発令に当たっての問題点と今後の課題について。</p> <p>⑥ 市民世帯に配布されている土砂災害ハザードマップはうまく活用されたのかどうか。問題点と今後の課題は。</p> <p>⑦ 防災及び災害時の情報発信手段としてのフェイスブックの有効性をどのように捉え、また、それを市民にどのように周知していかれるのか。</p> <p>(2) 災害時の相互応援協定の提携推進についての考えはお持ちかどうか。</p> <p>(3) 友好姉妹都市関係にある市町村間で相互応援協定が締結されることも多いとのこと。姉妹都市提携に向けた積極的働きかけの意思はお持ちかどうか。</p>	市 長 関係課長

受付順	質問者	質問項目 ・ 要 旨 ・ 内 容 1、2、3、・ (1)、(2)、(3)・・・ ①、②、③・・・	答 弁 を 求める者
2	6 番 片 平 志 朗 議 員	<p>1. 7月9日豪雨災害の検証と今後の防災対策強化に向けて</p> <p>7月9日の豪雨は至る所でインフラを破壊し多くの住宅を浸水させた。50年に一度と言われた今年の豪雨に続き、続けての災害は今や、何時どこで起こりえる気候変動（気象条件）に変わってしまった事の認識を共有したい。</p> <p>今後は同じ気象状況（雨量）になってもそれに耐えうるインフラの強化整備はもちろん、被災された住民にとって一日も早い生活再建が最重要課題であります。今後の本市の防災計画にしっかり活かして頂きたい。</p> <p>そのような観点から次の質問をお伺いする。</p> <p>(1) 本市インフラの強度設計は低いのでは （インフラの老朽化、河川の断面不足、従来の構造施行方法等）</p> <p>(2) 被災者救済基金の創設について 被災者の生活再建を迅速にするため基金を創設し、独自の見舞金等出せないか。</p> <p>2. 食物のロス削減と堆肥活用について</p> <p>日本の食糧自給率は39%で世界先進国の中でも最も低い。そしてそれを補うための食物輸入は世界一である。そんな中でも食品のロス（残渣、不良品等）は年間1700万tも発生すると言われる。一方世界で飢餓人口が8億4200万人いると言われている。</p> <p>今後は自給率向上はもちろんのことであるが、食物のロス削減と活用方法が求められていると考える。</p> <p>そのような観点から次の質問をお伺いする。</p> <p>(1) 本市の食品ロスは年間どの程度か。</p> <p>(2) 食物のロス削減について取り組んでいる事は。</p> <p>(3) フードバンク等の活用は考えているか。</p>	<p>市 長 関係課長</p> <p>市 長 関係課長</p>

受付順	質問者	質問項目 ・ 要 旨 ・ 内 容 1、2、3、・ (1)、(2)、(3)・・・ ①、②、③・・・	答 弁 を 求 め る 者
3	9 番 川 合 猛 議 員	<p>1. 新文化会館について</p> <p>(1) 現在急ピッチで工事が行われていますが、全体の進捗状況はどうなっているのかお伺い致します。</p> <p>(2) 現在まで実行された金額はいくらなのかお伺い致します。</p> <p>(3) 今後掛かり有る金額は、そして最終的な総額をお伺い致します。</p> <p>(4) この4月より文化会館整備課内に企画運営主幹を配置し現在に至っている訳ですが、開館まで約1年、どのような興行を行うのか何も見えてこない。又、大事な柿落としはどうかお伺い致します。</p> <p>(5) 大きな興行を実施する、それに対し多くのお客様がおいでになると思うが、宿泊等の受け入れは。又、赤湯温泉との協力体制はどのようにとられるのかお伺い致します。</p> <p>2. 少子化対策について</p> <p>(1) 現在まで8年間きっちりとした少子化対策をとらなかった故、約2,000人の人口減となってしまった。災害復旧が第一だとは思いますが、20年後には消滅してしまうと言われた南陽市です。今すぐ実施すべきだと思いますが、市長はどのように考えておられるかお伺い致します。</p> <p>3. 市の教育について</p> <p>(1) 現時点での不登校、長期欠席、小学校も含めての人数は。又、昨年同時期に比べての増減をお伺い致します。</p> <p>(2) 不登校対策として教育相談室があると思いますが、活動状況をお伺い致します。</p> <p>(3) 通学路の安全点検について、生徒、児童の巻き込まれる事故が相次いだ。平成24年4月に緊急に危険箇所の見直しを実施されたと思いますが、どのように改善され、現在の状況はどのようになっているかお伺い致します。</p>	<p>市 長 関係課長</p> <p>市 長</p> <p>教 育 長 関係課長</p>

受付順	質問者	質問項目 ・ 要 旨 ・ 内 容 1、2、3、・ (1)、(2)、(3)・・・ ①、②、③・・・	答 弁 を 求める者
4	4 番 山 口 正 雄 議 員	<p>1. 市政運営について</p> <p>(1) 「対話のある市政を取り戻す」「身の丈に合った市政運営」を掲げ、市長選挙で訴えられた政策（マニフェスト）についてお伺い致します。</p> <p>① 「身の丈にあった市政運営」とは、どのように理解すればよろしいのかお伺い致します。</p> <p>② 財政健全化で、具体的な数字は示さず県内ワースト2を強調されましたが、任期中に県内順位をどの程度まで引き上げる目標をお持ちなのかお伺い致します。</p> <p>③ 民間活力での赤湯・宮内の観光客100万人が来るまち復活は、どのような組織をお考えなのか。また、どのようなまちのイメージをお持ちなのかお伺い致します。</p> <p>④ 企業誘致の際、どのような優遇策をお考えなのかお伺い致します。</p> <p>⑤ 高齢者福祉の観点で</p> <p>○ 特老待機者解消に向けた施設整備は、新たな建設をお考えなのかお伺い致します。</p> <p>○ 高齢者に親切な除雪はどのように実施されるのかお伺い致します。</p> <p>○ 高齢者世帯に災害用FMラジオ配置の助成も必要かと思いますが、地域で見守る体制こそが必要ではないかと思いますが、どうお考えかお伺い致します。</p> <p>① ハイジアパークを本格的な子どもの屋内遊び場に改修する点について</p> <p>○ 事業構成はどのようにお考えかお伺い致します。</p>	市 長 関係課長

受付順	質問者	質問項目 ・ 要 旨 ・ 内 容 1、2、3、・ (1)、(2)、(3)・・・ ①、②、③・・・	答 弁 を 求 め る 者
4	4 番 山 口 正 雄 議 員	<p>○ 子どもの遊び場は無料なのか、有料なのかお伺い致します。</p> <p>○ 各機械設備の更新等についてどのようにお考えかお伺い致します。</p> <p>(2) 2017年インターハイに向けて、向山ソフトボールB球場の駐車場、常設トイレ等の整備が必要だと考えますが、どのようにお考えかお伺い致します。</p>	市 長 関係課長
5	2 番 高 橋 一 郎 議 員	<p>1. 災害対策について</p> <p>2年続けての豪雨災害。日本国中、今までの常識では考えられなかった災害が発災している。私たち生活者も今までとは違った発想や意識を変えていかないと対応できなくなっている。今こそ、常識にとらわれずに大胆な発想で現象をとらえていく観点が大事だと思う。市長の考えを項目内容ごとにお伺いしたい。</p> <p>(1) ハード面</p> <p>① 治山治水事業</p> <p>昨年7月豪雨以上の災害が今年も発災したことから、抜本的な河川改修計画の見直しが必要で、県や国の専門家がその対策と計画を10月くらいに発表するやに聞いている。これは長期計画であり、その間に災害を最小限に防いでいく現実対応は必須だ。</p> <p>応急措置として素早い対応でトンパック土嚢を堤防に積み、川底の土砂の掘削をするなどの河川工事は評価できる。</p> <p>しかし、2年続けて山から1本ままの木が流れ、橋の欄干にひっかかり、そこから越水して住宅の浸水に及んだ。荒廃している山の手入れ治山事業を治水とセ</p>	市 長 関係課長

受付順	質問者	質問項目 ・ 要 旨 ・ 内 容 1、2、3、・ (1)、(2)、(3)・・・ ①、②、③・・・	答 弁 を 求める者
5	2 番 高 橋 一 郎 議 員	<p>ットで取り組む必要がある。民有林の間伐や伐採木はバイオマスエネルギーとして利活用するなど持続可能なシステムを構築していくことを含め、積極的な事業展開が必要だ。</p> <p>(2) ソフト面</p> <p>① 避難所指定の見直し 今般の豪雨災害では、赤湯小学校に行くにも警察通りの県道が浸水し行けなかった。羽黒神社や梶塚公民館に避難した地区民がいる。このようなケースも踏まえ、市内全域の避難所指定の見直しが必要。</p> <p>② 避難勧告のあり方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 水平移動—避難所だけでなく安全な場所の知り合い宅(今般でいえば沖郷地区)に移動することも事前の備えとして、行政としても喚起していくことも必要と思う。</li> <li>・ 垂直移動—土砂災害危険区域以外の町場で、雨量の度合いや時間帯によっては避難勧告であっても、自宅や近所の2階に避難することも事前の備えとして、行政が喚起していくことも必要。</li> </ul> <p>2. 南陽市の将来計画について</p> <p>市政施行50年を3年後に迎え、タブー視されてきたことに、正面から向き合い、今こそ大胆な発想で南陽市の将来、市民の未来の青写真を議論したいと思えます。多くの困難があると思えますが、市長の現在の思いや希望をお伺いします。</p> <p>(1) 第5次南陽市総合計画の見直し</p> <p>「確かな未来へ夢はぐくむまち南陽」「菊とぶどうといで湯の里南陽」のキャッチフレーズと政策の3本柱としての教育、産業、健康のまちづくりを見直す考えは。また、前市長の南陽ブランドとしての駅伝への取り組み方策は。</p> <p>(2) これからの南陽市のグランドデザインと土地利用のあり方について</p> <p>① 「観光の駅」として東北中央道と国道113号のクロスする南陽インターに物産販売拠点は実現してほしい。</p>	市 長 関係課長              市 長 関係課長

受付順	質問者	質問項目 ・ 要 旨 ・ 内 容 1、2、3、・ (1)、(2)、(3)・・・ ①、②、③・・・	答 弁 を 求 め る 者
5	2 番 高 橋 一 郎 議 員	<p>② 南陽中央の土地利用計画とフラワー長井線 市役所付近の土地利用の妨げになるのは、東西を分断しているフラワー長井線。もし、この線路がなかったらコンパクトシティとして核となるすばらしい街ができる。南陽中央のみならず、宮内、梨郷まで計り知れない土地利用が可能になる。線路売買による収入確保も期待できる。フラワー長井線の役割は地域の足のみならず観光面でも寄与しているが、人口減少社会と高速交通網の整備や鉄道施設の維持管理費用の増高からバスへの切り替えも含めて議論すべき時である。</p> <p>③ 白竜湖の活用策 今回冠水した白竜湖付近の水田は、そもそもの白竜湖の元の姿だと思う。これからは、水田でなく白竜湖の大湿原にもどしていく手立てがないのか、所有者も利益のある活用方法を議論していくべき時である。</p> <p>④ いわゆるハイジアラインの整備 国道13号から市内への大動脈としての市道ハイジアラインを県道赤湯宮内線横断→フラワー長井線横断→国道113号を横断するように整備を行い、冬場も含めて通行可とするプランは。</p> <p>⑤ スポレクエリアとしての南陽中央花公園、ハイジアパークの整備 ハイジアパークに室内こども施設機能を持たせることには賛成。花公園エリアをスポーツレクリエーション拠点として積極活用する。 1つは現在不足している水の遊び場、夜間照明設備を設置することにより一層の賑わいを創出できる。 また、冬期間のアウトドアスポーツ用だけでなく、夏場でも涼しい環境でスポーツできる多目的室内運動場の建設に向けたリサーチを行う。</p>	市 長 関 係 課 長



受付順	質問者	質問項目 ・ 要 旨 ・ 内 容 1、2、3、・ (1)、(2)、(3)・・ ①、②、③・・・	答 弁 を 求 め る 者
6	13番 田中貞一議員	<p>1. 市長の基本姿勢について</p> <p>(1) 本市将来のビジョンをどのように描いているか。</p> <p>(2) 本市の喫緊の課題、短期的な課題をどう捉えているか。</p> <p>(3) 中期的、長期的な課題をどう捉えているか。</p> <p>2. 人口減少歯止め政策について</p> <p>(1) どのような対策を考えておられるか。</p> <p>3. 地場産業の振興と企業誘致政策について</p> <p>(1) 農業振興対策をどう進められるのか。</p> <p>(2) 観光産業の振興対策をどう進められるのか。</p> <p>(3) 企業の誘致対策をどう進められるのか。</p> <p>4. お年寄りや障がいをもたれている方達の足の確保政策について</p> <p>(1) 3路線のバス運行だけで公平な政策と思われるか。</p> <p>(2) デマンド方式のタクシー、または、バス等の導入が公平と考えられるがどうか。</p> <p>5. 除雪政策について</p> <p>(1) 大雪時の市道や生活道朝1回の除雪回数を見直すべきと考えるがどうか。</p> <p>(2) お年寄り世帯などの入口の除雪、排雪対策を検討すべきと考えるがどうか。</p> <p>6. ハイジアパークを子供の屋内遊び場にすると言われたが、具体的にどのような構想なのかお聞き致します。</p>	<p>市 長 関 係 課 長</p> <p>市 長 関 係 課 長</p> <p>市 長 関 係 課 長</p> <p>市 長 関 係 課 長</p> <p>市 長 関 係 課 長</p> <p>市 長 関 係 課 長</p>

受付順	質問者	質問項目 ・ 要 旨 ・ 内 容 1、2、3、・ (1)、(2)、(3)・・・ ①、②、③・・・	答 弁 を 求 め る 者
7	5 番  白 鳥  雅 巳  議 員	<p>1. 本市の各地域を結んでいる巡回バス運行について (高齢者福祉の観点から)</p> <p>(1) 利用者の思いに立った、また、必要とする巡回バス 路線の変更(停留所)について伺う。</p> <p>(2) 路線によって巡回バスの時間割が設定されているが、 時間帯の見直しや利用者からの前日予約による運行な ど検討すべきと考えるが見解を伺う。</p> <p>(3) 巡回バスを運営、また、維持するに係る経費削減に ついて見解を伺う。</p> <p>2. 災害に関する今後の取り組みについて</p> <p>(1) 昨年と今年の2年続いた災害を本市は受けた。しか し全国的に各地域でも発生していることを踏まえて、 各自治体との積極的な災害支援協定(相互応援協定) を早急に推進することを真剣に考えるべきと思うが見 解を伺う。</p> <p>(2) この度の災害によって、吉野橋を始め数カ所の橋が 崩落、または通行不可となっている。仮橋の架設にし ても冬季(降雪期)の除雪作業等にも不便性や不具合 が出ると思うが、その対応や計画及び除雪担当者との 受け入れ、打合せなどはどの様にするのか伺う。</p> <p>3. 子育て支援について</p> <p>(1) 子育て世帯に対する支援策としての中学3年生までの 医療費の無料化について伺う。</p>	<p>市 長 関係課長</p> <p>市 長 関係課長</p> <p>市 長 関係課長</p>

受付順	質問者	質問項目 ・ 要 旨 ・ 内 容 1、2、3、・ (1)、(2)、(3)・・・ ①、②、③・・・	答 弁 を 求める者
8	11 番 板 垣 致 江 子 議 員	<p>1. 市政運営について</p> <p>市長は先の選挙で政策（マニフェスト）を発表し対話のある市政を取り戻し、身の丈に合った市政運営で、公正な持続可能な政治の実現を公約されました。公約の次の点について具体的にお聞きします。</p> <p>(1) 財政の健全化では、行政に民間感覚を取り入れ、無駄を省き、これまで以上の効率化・効果的な財政運営を行うとされるその具体策は。</p> <p>(2) 南陽市を「観光の駅」と名づけ、赤湯駅と南陽インターに物産販売拠点の駅の整備に取り組み、また赤湯駅を置賜の玄関口に相応しい置賜文化発信の駅に整備するとされるその具体策は。</p> <p>(3) 赤湯、宮内の観光客向けまちづくりとして、民間活力で100万人が来るまちの復活をバックアップするとされているが、その具体策は。また、菊まつりの会場を宮内の双松公園に戻すべきと考えるが市長のお考えは。</p> <p>(4) 少子化対策と本気の子育て支援として、南陽方式少子化対策「3人っ子政策」（第3子以降の出生に対し妊娠から義務教育まで行政が補助し、経済的な負担を軽減する中で、南陽市の出生を増やす政策）に取り組むとされた次の具体策や取り組み時期のお考えは。</p> <p>① 市独自の妊産婦検診に対する補助</p> <p>② 0～5才児の保育料無料化</p> <p>③ 小学1年～中学3年生までの給食費無料化</p>	市 長 関係課長



受付順	質問者	質問項目 ・ 要 旨 ・ 内 容 1、2、3、・ (1)、(2)、(3)・・・ ①、②、③・・・	答 弁 を 求 め る 者
10	15 番 佐 藤  明 議 員	<p>1. 災害対策について</p> <p>(1) 市長は選挙戦の中で「昨年の災害の復旧が完了していなかったことが被害拡大につながっている」とこう述べられておりますが、具体的にはどのように対策を考えられておられるか。</p> <p>(2) 昨年の災害時の議会等でも各議員から「対応があまりにも遅すぎる」との指摘もあったが市長のご認識は。</p> <p>(3) 被災された方々に対し、市として独自の支援策はどのように考えておられるか。</p> <p>2. 副市長の選任はいつご提案されるのか。</p> <p>3. 南陽市では昭和59年9月27日「非核、平和宣言」を決議、議会も昭和63年9月2日南陽市非核、平和都市宣言を議決しました。市も議会も宣言してから30年近くなるろうとしています。この間映画の上映、平和コンサート、非核「平和の夕べ」等々を開催してきました。米沢市では次代を担う生徒たちを毎年沖縄、広島、長崎の各県に順次生徒たちを派遣しております。市としても来年は戦後70年という節目の年でもあり、これを期に派遣してはどうか市長のご見解を。</p>	<p>市 長 関 係 課 長</p> <p>市 長 市 長 関 係 課 長</p>